

# 学校ICTの推進

令和2年11月9日  
文教委員会  
所管事務調査資料

## 教材系ネットワーク



学校



センターサーバ

インターネット

### 普通教室の電子黒板導入



平成26・29年度に導入  
令和2年9月現在 1115台  
全学校で電子黒板を活用

### パソコン教室のタブレット化



平成29年度 配備  
平成30年度 配備  
令和2年9月現在1,700台  
各学校タブレット40台配備

### 校内無線LAN整備



平成29年度 8校  
平成30年度 11校  
平成31年度 9校  
整備完了予定

### 特別支援学級用iPad



平成26年度に導入  
平成30年度機器更新  
※495台配備

年3回訪問



ICT研修員

年16回訪問

### ICT教育推進校 (10校)



### タブレットPCに品川区トータル学習システムを導入

1人1台タブレットPCの配備 (2570台)

※ICT推進校は、  
パソコン教室のコンピュータを廃止

# 1人1台のタブレット端末の配備について

仕事でも、家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなり、パソコンやスマートフォン、タブレット端末など、誰もがICT機器を扱う時代になりました。

国が進める「GIGAスクール構想」を、品川区として推進するため、タブレット端末を児童・生徒に1人1台配備します。(6,9年生は12月、1~5・7・8年生は2月末までに配備予定)

※GIGAスクール構想:児童・生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる取り組みです。

GIGA:  
Global and Innovation  
Gateway for Allの略

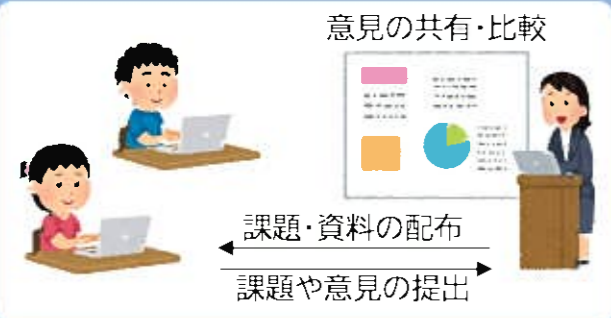
## 配備するタブレット端末と特徴

iPad セルラーモデル※  
(キーボード付き保護ケース付属)

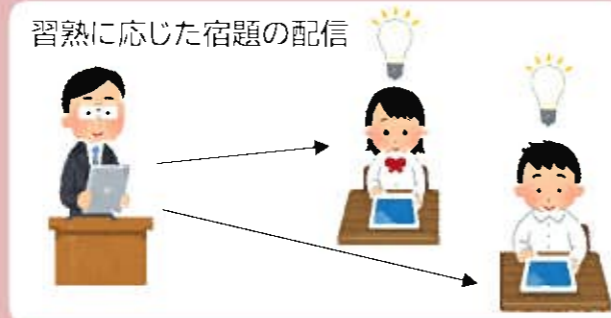


## タブレット端末の活用イメージ

### 学校で



### 家庭で



協働学習の充実、個別最適化した学びを実現します

「GIGAスクール構想の実現へ」(文部科学省)より

## GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



	「1人1台端末」ではない環境		「1人1台端末」の環境
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が大型提示装置等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる</li> </ul>	学びの深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる</li> <li>→子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に</li> </ul>
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員が同時に同じ内容を学習する(一人一人の理解度等に応じた学びは困難)</li> </ul>	学びの転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>各人が同時に別々の内容を学習</li> <li>個々人の学習履歴を記録</li> <li>→一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能</li> </ul>
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見を発表する子供に限られる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有</li> <li>子供同士で双方向の意見交換が可能に</li> <li>→各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる</li> </ul>

### ICTの活用により充実する学習の例

- ☑ 調べ学習: 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑ 表現・制作: 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑ 遠隔教育: 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑ 情報モラル教育: 実際に情報・情報技術を活用する場面(収集・発信など)が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加

# タブレット (iPad) 活用に向けた研修ロードマップ

令和2年

令和3年

